



第2924回 例会 (R5. 7. 25 火 晴れ※)

【ガバナー補佐訪問】

点 鐘 稲垣 圭次会長
R . S 手に手つないで 四つのテスト
ビジター ☆R.I.第2760地区 東尾張分区
ガバナー補佐 津坂 守英 様
☆R.I.第2760地区
地区副幹事 光岡 主税 様
☆R.I.第2760地区 東尾張分区
分区幹事 小塚 美知子 様



幹事報告 小川 誠幹事

1) 下記クラブは法定休日又は定款による休会又は
クラブ都合により(メーキャップ受付なし)です

クラブ名	例会日(曜)	クラブ名	例会日(曜)
犬 山	8月8日(火)	瀬 戸	8月9日(水)
瀬 戸 北	8月8日(火)	小 牧	8月9日(水)
岩 倉	8月8日(火)		

下記クラブは例会変更です

クラブ名	例会日(曜)	場所(変更理由)
春日井	8月4日(金)	(ガバナー補佐訪問)

☆第3回クラブアッセンブリーのご案内

日時：7月25日(火)

本日、ガバナー補佐訪問例会後、1時間程度

対象：役員・理事・委員長、入会3年未満会員

☆臨時理事会のご案内

来週8月1日(火)例会後臨時理事会開催

役員理事の方はご出席をお願い致します

☆「石上げ祭」参加のご案内(各テーブルに案内文書あり)

日時：8月6日(日)

※締切7月31日 ご参加希望の方は各自お申込下さい

出席報告(兒玉 寿委員長)

出席率 85.71%

会員49名 出席36名 欠席13名

欠席者 近藤俊也君 松平實胤君 中村大輔君

野村憲治君 澤田禅君 梅田佳和君

前例会の修正(7/18分)

真野健二君(7/18eCLUBONE)松山基邦君(7/19eCLUBONE)

以上88.64%を93.18%に修正

前々例会の修正(7/11分)

兒玉寿君(7/20eCLUBONE)伊藤正久君(7/7eCLUBONE)

松山基邦君(7/6eCLUBONE)中村大輔君(7/23eCLUBONE)

丹羽敬昇君(7/18eCLUBONE)

以上88.89%を100%に修正

ニコボックス(兒玉 寿委員長)

ガバナー補佐 津坂守英様、分区幹事 小塚美知子様より

地区副幹事 光岡主税様、地区スタッフ 塚本勝己様より

ニコをいただきました

稲垣圭次君 ガバナー補佐 津坂守英様、地区副幹事 光岡主税様、分区幹事 小塚美知子様のご来訪を喜んで！

本日は宜しくお願い致します。

(同文にて) 福富孝弘君 小川誠君 大島匡博君

朱宮新治君 津坂ガバナー補佐さん、暑い中犬山RCまでおいで下さいましてご苦労様です。

今年度頑張ってください。

安達寛益君 ガバナー補佐 津坂守英様、地区副幹事 光岡主税様、分区幹事 小塚美知子様のご来訪を喜んで！

本日は宜しくお願い致します。

(同文にて) 藤井友喜君 原正男君 日比野良太郎君

保浦博志君 井川光雄君 板津英基君

伊藤正久君 岩間信夫君 加藤浩一君

兒玉寿君 真野健二君 松井隆幸君

松山基邦君 簗島弘賢君 丹羽敬昇君

小川征一君 大原隆一君 岡田雅隆君

奥村正幸君 千田光範君 下平征司君

鈴木一成君 鈴木敏之君 高橋秀治君

谷定貴之君 宇佐美芳樹君 山根雄司君

安田一生君 安田新平君 吉田洋君

おめでとうございます！！

御夫人誕生日

加藤浩一君夫人 咲 子様 7月31日(結婚記念日 4/24)



さて7月29日(土)には初めての試みであります有志メンバーによる郡上踊り体験ツアーの日であります。福富副会長、近藤俊也君、大島副幹事はバス利用でなく、

ガバナー補佐 津坂 守英 様



さて、これからはロータリー創成期の流れをある一面から遡ってみることにします。

1935 年、ロータリー創始者ポール・ハリスは、実は日本を来訪しているのです。当時の帝国ホテルの庭に月桂樹の苗木を植樹されました。クラブ創設の理由を問われた時、寂しかったからと率直に答えられています。

それからほぼ 20 年後、四つのテストを提唱したハーバート J. テーラーも来日されています。岐阜ロータリークラブによって岐阜公園に寄贈された四つのテストの銘板の前で記念撮影を受けた写真が残されています。ご承知の通り四つのテストは元々経営理念を示したものであり、商工会議所でのテーラーの話に感銘を受けた他のロータリアンがいたことでロータリーに取り入れられることになりました。

さて、ロータリーは様々な変化をしつつ規範も大きく緩和されることになりました。毎週必ず出席する義務はなくなり、ひと月に 2 回以上の例会開催でよく、メーキャップもその年度の中で済ませればいいのです。オンラインによる例会開催も許され、包括する職業範囲でも社会奉仕活動も対象となりました。こういった今の状況に戸惑いはないでしょうか。

創成期においてポール・ハリスはことあるごとに寛容の精神の大切さを説いています。現在 RI は DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) という新しいテーマを掲げるようになりました。その内容をよく読み込めば、実はそのどれもが寛容の精神に収束していくことが理解できます。ただポール・ハリスの時代に比べ現代では寛容であるべき範囲が拡大化、複雑化しているためにこのようなテーマを掲げる必要が出てきたと捉えればいいのです。

まず伝えたいことは、Rotary は楽しい場所ではなくてはならないということです。親睦と奉仕が Rotary の両輪とは言われますが、親睦が前提とした上での奉仕と考えます。そうでなければ、いくら奉仕の大切さを説いてもメンバーの心に届くことはありません。

その為には親睦にもメンバーが心得るべきルールがあります。

1. いばらない
2. おこらない
3. 否定しない
4. 相手の心を傷つけない

Rotary では取引上の利害関係はほとんどなく気さくに周りとは話し合える良さがあります。そのためなおさらこういったルールを全員がわきまえておく必要があるのではないのでしょうか。

さて、皆さんは何のために奉仕するのかと問われてどう答えますか。Rotary 創設当時のアメリカでも同じ思いを抱いたロータリアンが多く存在しました。当初のクラブの目的は、親睦、取引の相互支援にあったからです。その為クラブメンバーが納得できるだけの奉仕に対する哲学、もしくは指針が必要となりました。

その苦心のあとがロータリー章典に残されています。1923 年の社会奉仕に関する声明がそれであり、「Rotary は人生哲学である」としています。続けて

1. 自ら利益を得たいという欲求
2. 他者のために良きことをすべきという義務感

3. 同じく他者のために良きことをしたいという願い
心にある三つの葛藤を鎮め調和させる哲学であり、それが奉仕の哲学だということです。

そこには二つの標語があり、ひとつはフランク・コリンズ原案による **Service Above Self** 「超我の奉仕」。もうひとつが皆さんよく耳にされるアーサー・フレデリック・シェルドン原案による「最もよく奉仕する者最も多く報われる」。でも正式文書である英文は「**One profits most who serves best**」であり、厳密に言えば「報われる」とは言っていないのです。英語の原文をネイティブの立場で表現するなら、「最も利益を稼ぐ人は最も優れた奉仕を実践している」となります。当時イギリスのロータリークラブがこの標語は撤廃すべきだと唱えました。Profit (お金を稼ぐ) は品がないというのが理由で。しかし元々この標語はシェルドンの提唱していた経営理念を奉仕の哲学に転用したもので、奉仕の世界でもりっぱに通用するといつてよく、今でも撤廃されずに残されています。当時の日本のロータリアンもこの英文を訳すとき profit が気になったようで「報われる」としましたが、かえってこれにより日本人にとって受け入れやすい標語に変貌したと思います。ここが日本人のすばらしさであり、単にアメリカの奉仕哲学をそのまま鵜呑みにせず、日本に適合するようにアレンジして取り入れたと言えます。ただどちらにしても職業において奉仕の意識を忘れないことが肝要だと説いているのです。

さて何の為奉仕するのかを再度自分自身に問うことにします。これまでロータリー創成期である原点を覗いたことで、ロータリーの奉仕の思想は職業奉仕に基づいていることが分かりました。職業に臨む時、周りに奉仕する気持ちを忘れないことが自分の職業を更に発展させることに繋がり、究極的には奉仕は自分の為といえます。元々 Rotary は個人の成長に焦点を当てていたのです。一方で、ある意味職業奉仕は難しい面も持ち合わせています。何故なら相手から対価を受け取る行為が含まれるからです。その際、先に述べた三つの葛藤を鎮め調和させているかを自らに問う必要があります。そういった姿勢を元に奉仕事業に臨んでほしいという願いが先の奉仕哲学に込められているのではないのでしょうか。当然奉仕事業は相手から対価を求めません。その中で様々な困難に出会うことがあるかもしれません。迷いが生まれたなら、もう一度原点に戻って奉仕をする意味を見出す姿勢が不可欠といえます。現在ロータリーにも様々な変化が訪れています。そのような変化に心感わず対応するには、ふたつの「しんか」が求められます。まず原点を見つめ自分なりに考えを深めしっかり根を張る「深化」。そしてその上で新しい変化を受け入れる「進化」です。RI は職業奉仕を起点に現在は五大奉仕へと拡大し、特に人道支援に大きく舵を切っていますが、あくまでも全世界に向けて共通のメッセージを送らざるを得ません。ロータリーの原点を踏まえながら、「profit」を報われるとした先人のロータリアンのように、日本人にとって相応しい形にアレンジしつつ変化を取り入れる知恵が求められています。



第3回クラブアッセンブリー

例会終了後、第3回クラブアッセンブリーが開催され、役員・理事・各委員長、入会3年未満会員が出席いたしました。各委員会事業活動の報告、ガバナー補佐講評が行われました。



＝本日のお食事＝



ご報告

○表敬訪問

7月26日(水) 小牧ロータリークラブ例会に稲垣会長、小川幹事が表敬訪問に行ってまいりました。

○鮎釣り報告

7月27日(木) 郡上市大和町の長良川で8月22日(火) バーベキュー用の鮎釣りを6名でしました。

釣果は22匹です。

当日の鮎の塩焼きはくじ引きになりそうです。

田中進一郎さん、吉田洋さん、安田一生くん、中村大輔くん、千田光範くん、稲垣会長、ご苦労様でした。

因みに会長は2匹でした。

